

# 第15章 景観

## 15-1 概説

### 1 自然景観

本県は、約 1,600kmにも及ぶ長い海岸線と、多くの島しょを持ち、また、内陸部には、西日本で最高峰の石鎚山を中心とする石鎚山脈及び四国山地があつて、海岸景観、山地景観に優れたものが多く見られる。

海岸景観としては、瀬戸内海国立公園に含まれる越智諸島や忽那諸島の島々、佐田岬半島の海食崖、来島海峡など、足摺宇和海国立公園に含まれる日振島、鹿島などの島々、内海村や西海町付近の海岸線、エビウドなどの海食洞等、多くの名勝が挙げられる。

また、山地景観としては、石鎚国立公園に含まれる石鎚山や面河溪谷などの山岳美や溪谷美、皿ヶ嶺連峰、篠山、四国カルスト、肱川、金砂湖などの県立自然公園の山岳や溪谷の景観や小屋山、及び赤石山系県自然環境保全地域の高山植物やブナ林の景観など、多くの優れた景観が挙げられる。

なお、本県では県内各地域にある貴重な自然景観や特異な自然現象の中から、特に美しいものを「えひめ自然百選」として選定している（表15-1）。

### 2 自然公園

自然公園とは、優れた自然の風景地を保護するとともに、利用の増進を図り、もつて国民、県民の保健、休養及び教化に資することを目的とした地域制の公園であり、このうち、我が国の風景を代表し、世界的にも誇り得る自然の風景地を国立公園として、また国立公園に準ずる風景地を国定公園として自然公園法に基づいて環境大臣が指定し、県内にある優れた自然の風景地を、県立自然公園として愛媛県県立自然公園条例に基づいて知事が指定することになっている。

現在、瀬戸内海国立公園、足摺宇和海国立公園、石鎚国立公園に加え、肱川、金砂湖、奥道後玉川、四国カルスト、篠山、佐田岬半島宇和海、皿ヶ嶺連峰の7地域を県立自然公園として指定している。

経済社会の進展に伴う各種開発により、良好な自然が破壊されつつある近年においては、自然公園は、自然との触れ合いの場として、あるいは、野外レクリエーションの場として県民の健康で文化的な生活に欠かせないものとなっている。

県下の自然公園指定状況は、表15-2のとおりである。

### 3 自然環境保全地域

優れた天然林が相当部分を占める森林、その区域内に生存する動植物を含む自然環境が優れた状態を維持している海岸、湖沼又は河川、植物の自生地、野生動物の生息地等で一定の広がりをもった地域については、その適正な保全を推進し、国民、県民が自然環境の恵みを享受し、次世代にこれを継承できるようにするため、自然環境保全地域として国及び県が指定することになっている。本県においては、笹ヶ峰を自然環境保全地域として自然環境保全法に基づいて環境大臣が指定し、赤石山系及び小屋山を、それぞれ県自然環境保全地域として愛媛県自然環境保全条例に基づいて知事が指定している。

県下の自然環境保全地域の指定状況は、表15-3のとおりである。

#### 4 自然海浜保全地区

瀬戸内海の美しい自然の渚を保全するとともに、将来にわたって県民の健全な海洋性レクリエーションの場を確保するため、県では、瀬戸内海環境保全特別措置法に基づいて、昭和55年に愛媛県自然海浜保全条例を制定した。

この条例は、水際付近において、砂浜や、岩礁その他これらに類する自然の状態が維持されている海浜や、海水浴、潮干狩、その他これらに類する目的のために、将来にわたって利用されることが適当と認められる海浜を、自然海浜保全地区として知事が指定することによって、開発等の行為を規制し、保全を図ることを目的としている。

同条例に基づき、現在自然海浜保全地区として23地区を指定している。また、自然環境保全協議会に委託して、各地区に自然海浜保全指導員を配置し、環境の維持、利用の適正化に努めている。

県下の自然海浜保全地区の指定状況は、表15-4のとおりである。

#### 5 都市景観

本県の都市においては、松山城等の歴史的文化財を中心とした街づくり、手入れされた生け垣や屋敷林等により調和のとれた優れた都市景観を創出している場合もあるが、一方で乱雑な広告物、不統一な街づくりなどにより、都市景観を損なっている場合もある。

今後のまちづくりにおいては、地域住民に潤いと満足感を与え、訪問者にとって好感の持てる特徴ある都市景観を創出することが必要である。

表15-1 えひめ自然百選

類 型	名 称
山 岳 (11)	笹ヶ峰(西条市) 瓶ヶ森(西条市) 石鎚山(西条市、小松町、面河村) 椽尾山(新宮村) 東赤石山(土居町、別子山村) 堂ヶ森(丹原町、面河村) 高縄山(北条市) 皿ヶ嶺(重信町、久万町) 大川嶺(小田町、美川村、柳谷村) 四国カルスト(柳谷村、野村町) 鬼ヶ城山系(宇和島市、広見町、松野町)
動 物 (5)	黒瀬ダム湖のカモ類(西条市) 重信川河口の水鳥群(松山市、松前町) 大谷池のカモ類(伊予市、砥部町) 栗田川流域のホタル(中山町) 鹿野川湖のオシドリ(肱川町)
樹 木 (14)	下柏のイブキ(伊予三島市) 高井神島のシマモクセイ(魚島村) 舟形ウバメガシ(岩城村) コミカン(上浦町) 小千命御手植のクスノキ(大三島町) 大師松(北条市)(平成6年9月概) 大成のカツラ(面河村) 乳出の大イチョウ(小田町) 高忍日売神社のホルトノキ(松前町)(平成6年3月概) 高野川神社のオタマノキ(双海町) 豊秋河原のエノキ(五十崎町) 三島神社のイチイガシ(肱川町) 三嶋神社のシラカシ(河辺村) 三崎のアコウ(三崎町)
植物群落 (11)	棹の森(川之江市) 銅山峰のツガザクラ(新居浜市、別子山村) 蛇池のサギソウ(今治市) 腰折山のエヒメアヤメ(北条市) 雨滝のスノキ群生(川内町) 二神島のイブキ林(中島町) 大野ヶ原のブナ原生林(野村町) 沖の島のハマユウ(宇和島市) 篠山のアケボノツツジ(津島町、一本松町) 須の川のウバメガシ林(内海村) 御荘大島の樹叢(御荘町)
水環境 (12)	うちぬき(西条市) 鞍瀬溪谷(丹原町) 鈍川溪谷(玉川町) 阿歌古溪谷(重信町) 滑川溪谷(川内町) 面河溪谷(面河村) 小田深山溪谷(小田町) 観音水(宇和町) 薬師谷溪谷(宇和島市) 成川溪谷(広見町) 節安溪谷(日吉村) 横吹溪谷(津島町)
滝・湖沼 (9)	金砂湖(伊予三島市) 清滝(新居浜市) 高瀑(小松町) 歌仙の滝(菊間町) 白猪の滝(川内町) 白滝(長浜町) 亀ヶ池(伊方町) 滑床溪谷と雪輪の滝(宇和島市、松野町) 中山池(三間町)
自然歩道 (9)	世田山遊歩道(東予市) ヤマモモのこみち(波方町) 大島自然研究路(吉海町) 立石山遊歩道(生名村) 鷲ヶ頭山遊歩道(大三島町) 四国のみち岩屋寺から大宝寺へのみち(久万町、美川村) 諏訪崎遊歩(八幡浜市) 旧吉田街道と平家谷自然林(保内町) 四国のみち法華津峠縦走コース(宇和町、吉田町、三間町)
海 域 自然環境 (10)	来島海峡(今治市) 鴨池海岸(大西町) 船折瀬戸(伯方町) 法王ヶ原(弓削町) 観音崎(関前村) 佐田岬と阿弥陀池(三崎町) 須崎(三瓶町) 大崎の海蝕崖と暖帯植物群(明浜町) 天巖鼻(城辺町) 鹿島と海中公園(西海町)
歴史的 自然環境 (12)	三角寺奥の院の寺叢(新宮村) 西山興隆寺の寺叢(丹原町) 志島ヶ原(今治市) 笠松山と野々瀬古墳群(朝倉村) 能島城跡(宮窪町) 松山城址(松山市) 小型石鎚(広田村) 八幡神社の社叢(大洲市) 桟川の堰群(内子町) 須賀の森(瀬戸町) 三滝溪谷と三滝城址(城川町) 宇和島城址(宇和島市)
自然現象 地形と地質 (7)	エジル輝石閃長岩(岩城村) 古岩屋(久万町) 御三戸嶽(美川村) 八釜溪谷と甌穴群(柳谷村) 衝上断層(砥部町) 大洲盆地の朝霧と肱川あらし(大洲市、長浜町) 小屋の羅漢穴(野村町)